

年度 2008 学期 後期	曜日・校時 月・2	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/ (英語名)	ドイツ語 IV German		
対象年次 2年次	講義形態	演習	
対象学生 (クラス等) 2M11・12	科目分類	外国語科目 (ドイツ語)	
担当教員: 山下哲雄 / Eメールアドレス: <a href="mailto:yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp">yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp</a> / オフィスアワー: 2校時後の昼休み、3校時後の休み時間			
授業のねらい: ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。 授業方法: 会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。 授業到達目標: ドイツ語を好きになり、ドイツそしてヨーロッパに興味を持つ。			
授業内容 ドイツでの日常生活の各場面に基づく会話を、自分の生活環境に置き換え、身近な言葉にして言語の習得を実現する。  第1回 パーティーには何を着ますか 第2回 この白いワンピースをどう思いますか 第3回 このゴミはどこに捨てますか 第4回 ドイツの学校の環境プロジェクト 第5回 ここで犬を放してはいけません 第6回 何歳になれば、何ができますか 第7回 ドイツの義務教育は何年ですか 第8回 パン屋になるためには、大学へ行く必要はありません 第9回 ドイツの学校 第10回 復活祭には何をしますか 第11回 ドイツの祭りと祝日 第12回 カーニバル 第13回 ドイツと日本の年末年始 第14回 「アトヴェント」とはどういう意味ですか 第15回 定期試験、後期の授業の総括、ビデオでドイツを見る			
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく		
教科書	『スツェーネン 2』 場面で学ぶドイツ語 著者: 佐藤修子 他、(株)三修社		
成績評価の方法・基準等	小テスト (40%)、定期試験 (50%)、授業中の発音・和訳・積極性(10%)		
受講要件 (履修条件)			
本科目の位置づけ			
備考			

